

ニュース・リリース #1

2015.4.29

三光不動産株式会社

**三光不動産「コンセプトハウス」を発表
県内で初めて県産材利用木造住宅による CO2 固定認証を受ける**

三光不動産株式会社（本社:秋田県秋田市、社長:安倍 秋一）は、秋田テレビ株式会社が運営する AKT ハウジングセンター（秋田市保戸野千代田町 1-42）にて「コンセプトハウス」を 4 月 29 日に発表します。

この新しい住宅を開発するにあたり、三光不動産では「健康」「環境」「持続可能な社会づくり」の三つを基準としたあたらしいコンセプトの住宅開発に取り組みました。

今回発表するコンセプトハウスは、その第一弾として信頼性の高い在来工法を活用しながらも、主な柱材、床材、床合板材、小割り材に秋田県産の杉を使い、建物の構造材の約 82.34% の国産材、約 54.78% の県産材の使用率。このことにより、一般住宅としては県内初となる県産材利用による「秋田県産材利用促進 CO2 固定量認証」を受けました。また、壁には調湿性と脱臭性に優れた、粉末状の卵の殻を塗布したエッグウォールを使用するなど、環境への取り組みを重視した住宅です。また、国土交通省で実施している「省エネ住宅ポイント」の助成が受けられます。

秋田県は、全国にも名前の知れた「秋田杉」ブランドの杉を有し、秋田県内の山林のうち約29%が民有人工林の杉※1 という全国でも有数の杉材の産地ですが、近年林業の高齢化などさまざまな問題のもと山林が荒廃する状況が進んでいます。

三光不動産の住宅に対する取り組みは、木材を利用した住宅を多く建設することで、県産の杉材の利用を促し、県の重要産業である林業を活性化し間伐等メンテナンスが進むことで、最終的に杉花粉や山崩れや水源の保全し、何より炭素の固定を都市部でも行うという一連の連鎖を倫理的な観点からサポートするエンカル型住宅の取り組みです。

また、グループ企業である三共株式会社（本社秋田県にかほ市、社長:安倍 秋一）では大規模ソーラー発電事業の運営、従来、廃棄されていた杉皮を土壌改良材やマルチング材として利用できるクリプトモス、三光メディケア（本社秋田県にかほ市、社長:安倍 秋一）では総合介護福祉施設「ハルモニア・にかほ」の運営を手がけており、さまざまな生活環境のノウハウをグループ企業から盛り込みました。

さらに、AKTハウジングセンター内のコンセプトハウスでは、お客様が安心してご来場頂けるように保育士の資格をもったシッターが土、日には常駐します。また庭には家庭菜園のスペースを設け、来場した子供達が本物の土に触れ、種まき、草取り、収穫など季節の流れを実際に体感して頂けるようになっています。

コンセプトハウスの主な仕様は以下の通り

工法・木造軸組在来工法

構造材・ハイブリットビーム（中国木材株式会社 / 広島県）

床・杉無垢フローリング（株式会社門脇木材 / 秋田県）

壁材・エッグウォール（日本エムテクス株式会社 / 東京）

冷暖房設備・セントラルサーモシステム（インターセントラル株式会社 / 岩手県）

〔秋田県内協力会社〕

（株）角繁・秋田プライウッド（株）・ニツ井パネル（株）・アスクウッド（秋田製材協同組合）・（株）門脇木材・（有）佐藤家具建具製作所・fuuukei

お問い合わせ

三光不動産株式会社 本社 暮らす「こと」研究室 担当：米山貴士

お問い合わせ時間 10:00～18:00（土日・祝日を除く）

TEL：018-824-0021 E-mail: yoneyama@sanken-web.co.jp

添付資料：秋田県産材利用促進 C02 固定量認証書写し

※1 秋田農林水産部発行の「平成26年度版 秋田県森林・林業の概要」より